

議会だより

No163

令和2年
4月30日発行



中央保育園入園式

令和2年 3月定例会

令和2年度 予算可決(一般会計・各特別会計)

- 可決された議案…………… 3～
- 提出議案と議員の賛否…… 6
- 一般質問…………… 7～

一般質問 10人の議員が町の考えを問う

- ・大賀孝訓 議員
- ・松島茂喜 議員
- ・松村 潤 議員
- ・佐藤富代 議員
- ・小島幸典 議員
- ・小沢泰治 議員
- ・大野貞夫 議員
- ・塩井早苗 議員
- ・瀬山 登 議員
- ・黒田重利 議員

邑楽町議会のホームページに
アクセスできます

本会議の様態を動画による
録画配信でご覧いただけます



令和2年度一般会計予算

85億8,900万円の予算を可決
対前年度比6.3%増

3月定例会

令和2年第1回定例会が、3月3日から16日まで開かれました。令和2年度の一般会計予算や各特別会計予算等の議案が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。



改修が行われる中野東小学校

令和2年度予算の予算規模は、一般会計で85億8900万円、前年度に比べ5億1100万円、6・3%の増額としました。

歳入での町税収入見込額は、固定資産税や軽自動車税などの増収が見込まれることから、前年度比5456万円増の35億9043万円としました。

地方交付税は、前年度を上回る10億2000万円を見込みました。繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金及びふるさと振興基金などから合わせて7億7000万2000円計上しました。前年度比2億5200万1000円の増です。町税、地方消費税交付金などが増加していますが、国庫支出金などが減少する中で、財源確保の観点から、前年度に引き続き財政調整基金繰入金を計上しました。

町債は、今後の財政負担を極力抑えながらも積極的な投資を行うため、6億9

480万円（10・4%増）ですが、その内の5割近くは臨時財政対策債が占めています。

歳出の大きく増額されたものとして、障害児通所支援給付事業に8662万9000円、一般廃棄物処理一部事務組合負担金に4億1980万円、大泉し尿処理施設事務委託事業に1億1998万3000円、保険基金安定制度繰出金に1億5682万1000円、公共下水道推進事業に1億7937万8000円、中野東小学校改修事業に1億1010万円、学校給食事業に2億1018万6000円を計上しました。公債費では、長期債元金に7億497万4000円、長期債利子に3277万2000円計上しました。景気動向は民需を中心に徐々に回復の動きが広がっているといわれていますが、まだまだ景気回復を実感することは難しい状況であります。国の国債依存度は限

界を超えたといわれている状況は変わらず、地方への財政措置がこれまでのように確保される保証はないといわざるを得ません。

今後も人口減少や少子高齢化社会の進展、地域コミュニティの希薄化、災害対策など私たちを取り巻く環境が大きく変化していく中で、行政サービスの取捨選択を図るとともに立ち止まることなく前進をしていかなくてはなりません。

将来を見据え、今の仕事に疑問を持ち、新しい考え方をしっかりと取り入れ、職員の英知を集結し、将来に向かつて夢と希望のあるまちづくりを目指して努力してまいります。そして、町民の皆さまとともに、大いに意見交換を行い、町民の皆さまの声を一つ一つ誠実にまちづくりに反映させていく所存であります。町民の皆さまと議員各位の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。（町長の施政方針抜粋）

可決された議案

【人事案件】 教育委員会委員の任命

教育委員会委員に、谷津洋子さん（中野）を任命することに同意しました。

◆ 副町長の選任

副町長に、半田康幸さん（中野）を選任することに同意しました。

◆ 【条例改正等・規約変更の協議】 群馬県市町村公平委員会の共同設置について

公平委員会を効率的に運営するため、令和2年4月1日から渋川市外33団体に、おいて群馬県市町村公平委員会を共同設置することになりました。

◆ 館林地区消防組合の規約変更の協議

館林地区消防組合消防本部及び館林消防署が、令和2年4月1日から事務所を

移転することに伴い、組合規約変更の協議をしました。

◆ 邑楽町附属機関の設置等に関する条例

「地方公務員法の一部を改正する法律」の施行に伴い、審議会や委員会の委員を特別職非常勤職員として条例上に位置付ける必要が生じたため、条例を制定しました。

◆ 邑楽町交通安全指導員設置条例を廃止する条例

「地方公務員法の一部を改正する法律」の施行に伴い、令和2年4月1日から交通安全指導員を特別職非常勤職員として位置付けられなくなることから、条例を廃止しました。

◆ 邑楽町印鑑条例の改正

総務省の印鑑登録証明書処理要領が一部改正されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

職員の仕事の宣誓に関する条例の改正

「地方公務員法の一部を改正する法律」の施行に伴い、会計年度任用職員について追記する必要があるため、条例の一部を改正しました。

邑楽町職員の育児休業等に関する条例の改正

「地方公務員法の一部を改正する法律」の施行に伴い、非常勤職員の育児休業について、条例の一部を改正しました。

邑楽町公平委員会設置条例を廃止する条例

令和2年4月から共同設置される「群馬県市町村公平委員会」への参加に伴い、条例を廃止しました。

邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の改正

「地方公務員法の一部を改正する法律」の施行に伴い、特別職非常勤職員の報酬について所要の整備を行

うため、条例の一部を改正しました。

邑楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正

「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令」が公布されたことに伴い、用語の整理、利用者負担額等の受領など条例の一部を改正しました。

邑楽町農業後継者育成条例を廃止する条例

農家の後継者を育成することを目的に昭和48年に施行されていたが、青年就農者を対象とした事業は、事業ごとに要綱等を規定し対応していることから、条例を廃止しました。

邑楽町小口資金融資促進条例の改正

群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部改正が行わ

れたことに伴い、条例の一部を改正しました。

【選挙】

選挙管理委員・補充員の選挙

選挙管理委員と補充員が選出されました。

選挙管理委員

笠原一夫さん（中野）
栗原 實さん（狸塚）
山口和己さん（石打）
板橋俊春さん（赤堀）

補充員

高橋敏子さん（中野）
小川兼彦さん（篠塚）
寺崎利治さん（藤川）
森戸久子さん（鶉）

請願・陳情

2件の請願が受理され、審査の結果次のとおりになりました。

【不採択となった請願】

若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める（請願）

請願者

前橋市樋越町

全日本年金者組合群馬県本部

執行委員長代行

女屋 定俊

館林市木戸町

全日本年金者組合群馬県本部館林邑楽支部

支部長 山中 一夫

年金支給の隔月支給を毎月支給に改める（請願）

請願者

前橋市樋越町

全日本年金者組合群馬県本部

執行委員長代行

女屋 定俊

館林市木戸町

全日本年金者組合群馬県本部館林邑楽支部

支部長 山中 一夫

自治功労者表彰

永年勤続により、塩井早苗議員が群馬県町村議会議長会表彰を受けられました。今後も町発展のため、一層のご活躍を期待します。



群馬県町村議会議長会表彰
塩井 早苗 議員

令和元年度補正予算額（3月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	88億6,585万円	2億6,773万円	91億3,358万円
国民健康保険特別会計	33億6,123万円	△4,950万円	33億1,173万円
後期高齢者医療特別会計	3億0,588万円	1,346万円	3億1,934万円
介護保険特別会計	21億4,332万円	△758万円	21億3,574万円
下水道事業特別会計	2億9,699万円	△672万円	2億9,027万円
学校給食事業特別会計	2億3,625万円	△145万円	2億3,480万円

令和2年度当初予算額

会計別	本年度予算額	前年度予算額	対前年増減率
一般会計	85億8,900万円	80億7,800万円	6.3%増
国民健康保険特別会計	30億6,731万円	31億7,074万円	3.3%減
後期高齢者医療特別会計	3億1,737万円	2億9,832万円	6.4%増
介護保険特別会計	20億7,662万円	20億0,248万円	3.7%増
下水道事業特別会計	2億8,516万円	2億8,753万円	0.8%減



改修が予定されているシンボルタワー

新年度予算質疑（要旨）

新年度予算についての質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。

Q 松島茂喜議員 シンボルタワーの雨漏り改修工事の費用はどのくらいか。

A 商工振興課長 台風などによって雨漏りが生じてきている状態のため、工事費として約8000万円を見込んでいます。

Q 塩井早苗議員 シンボルタワーの修理設計を委託するとき、中央公民館にもあるボルダリングなど、全国からたくさんの方が集まるようなにぎわいを仕掛けるための計画をする考えは。

A 町長 設計業務の中でそういうことが可能かどうか、考えている。

Q 松村 潤議員 改修した学校の洋式トイレの便座が冷たい。子どもの心を理解していない。暖房便座に変えられるか。

A 町長 一斉には難しいが、中野東小学校から順次進めていきたい。便座の機種は、設計業者と検討していきたい。

Q 大野貞夫議員 国民健康保険税の滞納額が、今後ますます増えてくるのではないか。このような事態を町長はどう感じているのか。
A 町長 低所得者層に対するの軽減策はとっている。担当もそれを踏まえて取り組んでいる。

令和2年第1回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

議案等	議席番号														結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
議員名	島田時男	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	大賀孝訓	瀬山登	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤	神谷長平	小沢泰治	大野貞夫	小島幸典	
同第1号 意見 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
同第2号 意見 副町長の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第1号 案号 群馬県市町村公平委員会の共同設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第2号 案号 館林地区消防組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第3号 案号 邑楽町附属機関の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第4号 案号 邑楽町交通安全指導員設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第5号 案号 邑楽町印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第6号 案号 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第7号 案号 邑楽町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第8号 案号 邑楽町公平委員会設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第9号 案号 邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第10号 案号 邑楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第11号 案号 邑楽町農業後継者育成条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第12号 案号 邑楽町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第13号 案号 令和元年度邑楽町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第14号 案号 令和元年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第15号 案号 令和元年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第16号 案号 令和元年度邑楽町介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第17号 案号 令和元年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第18号 案号 令和元年度邑楽町学校給食事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
議第19号 案号 令和2年度邑楽町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	可決
議第20号 案号 令和2年度邑楽町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	可決
議第21号 案号 令和2年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	可決
議第22号 案号 令和2年度邑楽町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	可決
議第23号 案号 令和2年度邑楽町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	可決
請第2号 願号 若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める（請願）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	○	×	不採択
請第3号 願号 年金支給の隔月支給を毎月支給に改める（請願）	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	議	×	○	×	不採択

※ ○…賛成 ×…反対
議…議長（議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します）

町政を問う

一般質問

一般質問は、3月4日及び5日に行われました。質問には、10人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

- ◆ 大賀孝訓 議員
町の知名度向上の方策について 7 ページ
- ◆ 松島茂喜 議員
地域医療の充実について 8 ページ
- ◆ 松村 潤 議員
人口減少問題への対策について 9 ページ
- ◆ 佐藤富代 議員
地域防災体制の整備 10 ページ
- ◆ 小島幸典 議員
福祉センター寿荘の日曜日開館を 11 ページ
- ◆ 小沢泰治 議員
健康寿命で高齢者の収入獲得と生きがい 12 ページ
- ◆ 大野貞夫 議員
子育てにも家計にもやさしい施策について 13 ページ
- ◆ 塩井早苗 議員
廃棄物の山積みから邑楽の風土を守るには 14 ページ
- ◆ 瀬山 登 議員
魅力ある農業を目指して 15 ページ
- ◆ 黒田重利 議員
生涯スポーツの推進について 16 ページ



大賀 孝訓
議員

町の知名度向上の 方策について

問 邑楽町の知名度がいまひとつ上がっていない。県においては本年度群馬DC（デスティネーションキャンペーン）が行われるが、町の取り組みはどのような状況か。

答 **商工振興課長** 東毛地域の市町で東群馬のパンフレットを作成した。また、観光大使による絵本サイン会などを行う予定である。

問 立派なパンフレットだが、これをどこで配布し、どのように盛り上げていくのか。

答 **商工振興課長** 町の公共施設や飲食店などで配布を予定している。

問 甘楽郡甘楽町では、新聞紙大の広告を掲載した。このような市町村がある中、商工振興課長はどう考えるか。

答 **商工振興課長** 町には観光という観光がなく、本場に観光に乏しい町である。イルミネーションなど一つずつ改善し、町のために頑張っていきたい。

問 町のわずかな資源でも観光に役立てたい。知名度を上げ、多くの人に来てもらい、特産品が売れるよう頑張りたい。町には特産品が少なく、今後特産品をどのように宣伝し、盛り上げていくかが大きな課題となる。邑楽町といったら「白菜、ゴーヤだね」などと絞って特産品をPR

していく方法はないか。

答 **農業振興課長** 町の特産品として邑美人白菜があり、ゴーヤは邑楽地域を代表する夏野菜である。最近はキャッサバの生産が盛んで、連日買い物客が多く、通販の注文も多い。栽培しているアグリファームは、新聞に取り上げられ、町の特産になりつつある。今後は、野菜を中心しながら、気候風土にあった特産品を産出したい。新たな特産品の開発には、6次産業化が大きな柱になる。地域づくりの観点から、町内の農産物を使った料理を提供していくことを進めたい。大泉高校では、地域と連携した商品開発を進めている。若者の新しい視点での特産品づくりを進めたい。

問 6次産業化で製品化するによって、年間を通じた特産品になっていく。キャッサバについて詳しい議員もいる。苗の栽培は難しいが、冷凍加工することによって、年間を通じて製品化が可能であり、年間を通じた町の特産品になるとのことである。キャッサバを使った町おこしは考えられないか。

答 **農業振興課長** あいあいセンターや生活研究グループとの連携、飲食店や商店との連携を一番の基本と考えていきたい。

問 一つの特産品ができれば、多くの波及効果がある。6次産業化に向けた特産品づくりのための補助を考えてほしい。

答 **農業振興課長** 現在、特産品の開発予算はないが、商工振興課の補助金を使い、新商品開発の補助につなげていきたい。

補助金で
商品開発を考える

問 その他の一般質問

- ・予算の削減について



キャッサバの直売所



松島 茂喜
議員

地域医療の充実について

問 太田・館林保健医療圏に限定して聞くが、この地域の医療は充実しているのか。

答 町長 医師不足を考えると充実していないと思う。

問 まずは、人口10万人当たりの医師偏在指標を聞きたい。

答 健康福祉課長 現時点では、群馬県が210.9人。太田・館林保健医療圏では、135.1人である。

問 子どもを育てる前に、産む環境がない状況であると思うが、太田・館林保健医療圏で、小児科・産科の診療科を掲げている医療機関の数は。

答 健康福祉課長 専門に診療しているのは、小児科で11機関。分娩可能な産科は、5機関である。

問 太田記念病院も普通分娩の受け入れがでなくなつた。ますます状況は悪化している。救急病院、地域医療支援病院、災害拠点及び連携病院、感染症対応の病床、それぞれの数については。

答 健康福祉課長 救急告示医療機関及び救急医療協力機関は、いずれも8機関である。地域医療支援病院と災害拠点病院は、いずれも2機関。災害拠点連携病院はない。感染症対応の病床数は10床である。

問 町長は、この数値から見えてくる課題をどう捉えているのか。

答 町長 医師が少ないというの、診療科目にも影響を与えている。

問 医師不足という一貫した答弁だが、私が配布した、総務省公表の病院経営分析比較表から、公立館林厚生病院の経営状況を見て、気付いたところを指摘してほしい。

答 町長 2年前に医師を招聘するために報酬の引き上げを行った。結果36名から43名に増えている。

問 病院経営は、それに特化せず、総合的に勘案するの、副管理者としての役割ではないのか。

答 町長 公立館林厚生病院の累積赤字は、約91億円である。邑楽町では、約6億7000万円の出捐金を出している。2月23日の正副管理者会議では、今後、病院長が全ての管理運営を行うことを決めた。これにより、経営が透明化されると感じている。

問 これまでの会議では、病院の人事や給与についても携わってきたのか。

答 町長 報告を受けるだけであった。

問 予想どおりである。患者やその家族に寄り添い、体質的な改善を行って、医師が集まってくるような病院にしてほしい。副管理者として具体的に何をすべきなのか。

答 町長 改善に向けて、昨年9月から経営をコンサルにお願いしている。公立館林厚生病院を、皆さんに安心して受診していただけるようにしたい。



地域医療の要である公立館林厚生病院



松村 潤
議員

人口減少問題への 対策について

問 本町の将来人口の推移予測は。

答 企画課長 2000年の2万7512人をピークに、それ以降減少に転じ、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040年には約2万5000人になると推計されている。

問 人口減少問題の解決には、さまざまな取り組みが求められている。自治体によっては子育て世代が住宅を新築した場合、固定資産税相当額を課税免除するところがあり、魅力的な制度である。本町でも、子育て世代が新たに土地及び住宅を取得した際、また町内に在住し新たに新築住宅を取得する際にも固定資産税の免除をしてほしい。緑

あつてこの邑楽町に住んでいる人たちを絶対に町外に逃がさない、とどまることも定住である。この制度は、新たに財源がかららないので、定住化対策として取り組むべきと考えるが。

答 町長 固定資産税の相対的に軽減することによって、町の税収も少なくなるというところもある。町では、子育て世代に対しての支援を実施している。

問 人口が減っていく中で、町外の人が本町に移住し、若い人が本町で子どもを産んでくれるということができないければ人口増は望めない。若い人が来ることで、町の活性化につながる。島根県邑南町では、平成23年に定住プロジェクト

ムを立ち上げ、定住支援コーディネーターによる支援の結果、町に移住した人口は442人、241世帯でマイナスが続いていた社会動態も平成25年にプラスに転換、平成27年まで3年連続で転入が転出を上回る社会増を実現した。

移住定住が進む 施策を考える

答 町長 本町と邑南町ではあるが、共通する部分はあると思う。本町においても、来年度から東京有楽町にあるふるさと回帰支援センターへ入会し、群馬県及び近隣市町との共同の取り組みにより、移住定住が進んでくるような施策を考え

問 邑南町の定住支援コーディネーターは、移住の窓口として全国から相談を受け、住まいや仕事、保育所など町に関するさまざまな情報を提供している。相談者が町を訪問する際は、希望に応じて会社訪問や住宅物件の見学ができるように、関係者への事前の根回しなども行う。本町においても邑南町のように思い切って定住促進課、地域みらい課をつくり定住支援コーディネーターを配置し、定住支援コーディネーターと連携し協力する地域の人材、定住促進支援員を町長が委嘱してはどうか。

答 町長 移住定住の取り組みを加味した中で、機構改革をする場合には取り組んでいく。コーディネーターの必要性があれば、職員を位置付けていくことも大事なことと思っている。



都内での群馬県移住フェアの様子



佐藤 富代
議員

地域防災体制の整備

問 災害時失われた命の7割は、助かる命である。

これには、地域防災力と避難所の環境が影響する。昨年、町では「災害対策本部」を開設し、大雨に備えた。防災行政無線による災害情報は住民に届いたのか。

答 **安全安心課長** 防災行政無線を基本としているが、台風など暴風雨の時は、また住宅の気密性の向上により聞き取りにくい。町では、令和2年度から防災行政無線の戸別受信機などを貸し出す制度を開始する。

問 自主避難所に自主避難者を受け入れての課題は何か。

答 **安全安心課長** 4カ所に79名が避難した。開設時期を早め、明るい時間

帯に避難できる体制にすべきであった。指定避難所の安全点検、必要な資機材の準備など、いざという時に対応できるように準備しておくことが肝要である。

問 自主防災組織の現状と町の支援体制は。

答 **安全安心課長** 34行政区に自主防災組織があり、7行政区が防災訓練を実施している。町からの支援は、防災備蓄品のうち、水や食料を提供している。また、邑楽町協働のまちづくり活動支援事業補助金も交付している。

問 自主防災組織の充実強化に向け、地域リーダーの育成については。

答 **安全安心課長** 停電時に備え、一つの方法と

答 **安全安心課長** 地域に根差したリーダーがリーダーシップを持つて取り組むことは重要である。防災士や消防士から必要な知識や技術を習得する。また、地域の防災訓練から学ぶ機会を設ける。

問 災害防止や減災に関わる専門的な人材やアドバイザーの必要性は。

答 **安全安心課長** 専門的な職員の配置は難しいが、助言や研修に関わる防災アドバイザーの活用は可能である。

問 自主防災組織と災害対策本部との連絡方法の確保は。



邑楽町防災行政無線

してスマートフォンを利用し情報を共有する。IP無線などは費用や管理の面から熟慮が必要である。

問 これからの地域防災体制の整備は。

危機管理体制は日々の生活の中から備える

答 **町長** 災害は全く予期しない状況で発生する。災害に備える危機管理体制は、日々の生活の中できちんと位置付けなければなら

ない。邑楽町地域防災計画に基づいた防災計画はもちろん、災害が起きた時には、瞬時に対応できる体制を作っておくことが重要である。日々の生活の中で防災、災害に対する備え、訓練を行い何かあった時には、お互いに助け合う協力体制こそ一番大事なことである。今、7行政区が防災訓練を実施しているが、多くの行政区が防災、災害への備えができるよう働きかけていきたい。



小島 幸典
議員

福祉センター寿荘の 日曜日開館を

問 福祉センター寿荘は、昭和56年3月に完成し、今年3月に開館39年になる。町民にとって貴重な福祉施設である。開館当初から平成6年8月まで利用者は約80万人、年間平均約6万4000人であった。平成6年9月から平成9年までに約20万人、年間平均約6万6000人の利用者がいたというデータがある。現在、利用者はどのくらいいるのか。

答 健康福祉課長 平成29年は4万5348人、平成30年は4万3310人である。

問 指定管理委託料は、年間どのくらいになるのか。

答 健康福祉課長 年間2700万円支出している。

問 勤務している従業員の雇用形態は具体的にどのようなになっているのか。

答 健康福祉課長 社会福祉協議会の職員2人、パート職員6人が勤務している。

問 営業時間は、開館当初から午前9時から午後4時までとなっているが、現在も変わっていないのか。

答 健康福祉課長 営業時間は現在も変わっていない。

問 高齢化が進む現状からみるとマイカーや電車を利用できず、来館できない。

い高齢者も少なくないと思われる。送迎バスの重要性はますます高まると考えられるが、その運行状況はどうなっているのか。

答 健康福祉課長 曜日ごとに異なる地域に送迎バスを運行している。

問 高齢化がますます顕著になってきている昨今の状況を考慮すれば、送迎バスの重要性もさらに高まることは否定できない。邑楽町の全ての地区を回遊するような、送迎バスの運行システムを構築するのが望ましいと考えられる。送迎バスの運行コースの見直しについて、どのように考えているのか。

答 町長 現状で問題ないと考えている。

問 開館当初は日曜日も営業していたが、現在は営業していない。それにより利用者が1万8000人も減少している。そのため、日曜日にも営業することを要望するが。

現状のままでも問題ない

答 町長 現状のままでも問題ないと考えている。

問 青少年の教育の場として、より積極的に利用できるようにすることが望ましいと考えるが、教育長はどう考えるのか。

答 教育長 スポーツ団体などの指導者の意見は聞いていないので分からないが、そのようなことになれば使用料の減免などの措置についても行っていきます。



福祉センター寿荘



小沢 泰治
議員

健康寿命で高齢者の 収入獲得と生きがいを

問 10年前の私の一般質問「高齢者の増加が現実の邑楽町において、行政は何をすべきか」では、町農協が主導し、高齢者の経験と知識を持つ方々を指導者として迎え、熟年の方が病気を意識せずに加齢する社会を構築し、邑楽町民がますます元気になれる高齢社会を、ぜひつくって欲しいと質問した。町長は、具現化できるように努力し、担当者に調査、研究をさせると答弁している。高齢者問題となれば、いかに病院また介護施設の世話にならずに過ごせ、長寿を全うできるか。健康寿命の延伸で、高齢者が今以上の収入獲得を生きがいにする。お金をこの世に消費として回していけば、あらゆる産業に貢

献できるのではないか。それには、まず病気にならない社会づくり、生まれてからの食育、食生活、生活習慣、それが大事ではないかと思う。一般社会の生活環境と社会貢献のことについて町長の考えは。

答 町長 極端に今、生活習慣病が大変増えている。食生活において、生まれたときから毎日の中でいかに健康を維持していくか。自らが食、休養、運動などを取り入れ毎日生活しているけば、健康寿命につながり、毎日充実した生活が送れるのではないかと思う。

問 10年前にも質問し、町長は積極的に取り組むとのことであった。そんなことを言うては申し訳ない

が、町長はこの10年間、休まず遅れず働かずであり、私は未だに先に出ていないと思う。離農者も多く、耕作放棄地も多い訳だが、ぜひ広い土地を活用し、町が主導して農協なり、農業団体でもいいが、広い面積の土地を、この20アールはナスを作る、ここはキュウリを作る、別々に栽培し連作障害、あるいは病虫害にかからないような体制をつくる。ぜひそれを取りまとめてほしい。

社会資源の活用

答 町長 いわゆる社会資源の活用という言い方をすると、大いに活躍、協力をしていただきまちづくりを行っていけば、まさに

総合計画の最終目標である「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち おうら」のまちづくりに近づいていくと考える。議員から大変貴重な意見もいただいた

た。皆さま方の力を借りて、まず邑楽町はこうあるべきだということに向かって取り組んで行きたいと思っている。



高齢者の生きがいつくり



大野 貞夫 議員

子育てにも家計にもやさしい施策について

問 今、住民にとって、一番の重税感のある国民健康保険税の現状について、滞納額、その世帯数、差し押さえ件数は。

答 税務課長 滞納額は約2億1000万円、世帯数は191世帯、差し押さえ件数は他の町税も含むと216件である。

問 町の平成31年度の国民健康保険税の場合、所得に占める割合は16・6%、社会保険は6%である。国民健康保険加入者は、75歳までの高齢者、失業者、非正規労働者で加入者の4割が無職である。そこに収入に関係なく、世帯や家族の人数に応じてかかる算定方法がある。また、医療費に対する保険負担率がかつて

は45%で、今では30%までに引き下げられた。構造的な問題がある。国民健康保険税は子どもが一人生まれ

ることによって生じる均等割という制度がある。社会

保険にはない。今、均等割を子育て支援の一環として、

減免制度の実施に踏み切る動きが全国的に広がりつつ

ある。このことにより分割納付を自治体と合意し、家

計を切り詰めつつも納付し続けた結果、完納の出口も

見えてきた家庭もある。いわゆる子育て政策の一つの

考えではあるが、町長の見解は。

公正公平に考えていく

答 町長 一般会計からの繰り入れや公正公平な

課税ということからもトータル的に、考えていく必要がある。

問 18歳までの均等割を減免した場合、人数的に

は令和元年10月31日現在466人。医療分・支援金分

として、一人当たり3万3000円、総額1537万

8000円になる。この予算を子育て支援策の一つと

した場合、大きな効果があると思う。社会保険と比べ

ると2倍以上に高いものを課せられているところに対

する恩恵と同時に、多くの中小零細企業は、ほとんど

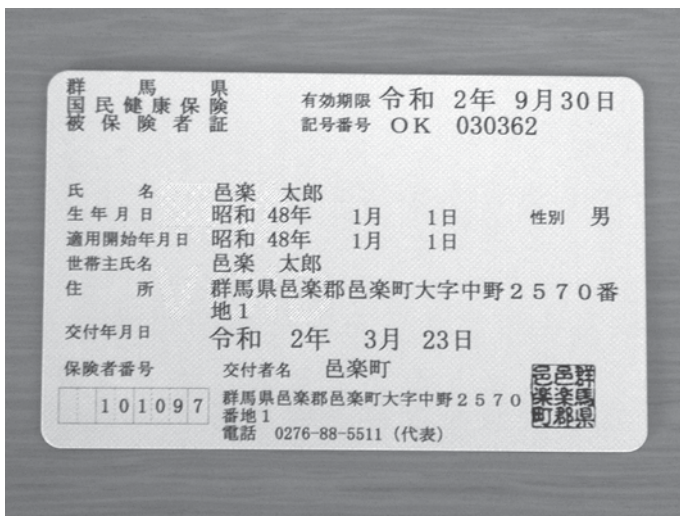
の人が国民健康保険に加入していることから、ここ

にも経済的な恩恵を与えると思う。新年度の国民健康保

険特別会計予算が30億67

31万7000円で、これに占める割合は0・5%である。これを各自治体で行った場合、最高0・67%くらいまでであれば、それほど地方自治体の経済を脅かすことにはならないと言っている学者もいる。こうしたことを総合的に判断する必要があると思うが、

町長の考えは。町長 18歳以下の均等割額の費用負担について、それはそれとして聞き、小中学生の給食費問題についてもこれから提案をし、実施していきたいと考えている。その額は、均等割額を超える額になると。これもあれもとなると大変厳しい財政運営になつてしまうため、段階的に取り組んでいきたい。



均等割の減免を



塩井 早苗
議員

廃棄物の山積みから 邑楽の風土を守るには

問 最近何年来のことだが、廃棄物が思いがけないところに山積みになっていくのを多く見る。ある地域の地権者の方から相談を受けた。「土地を貸したところ、土砂、トタン板、ベニヤ板、古タイヤや使い古した家電などが次々に持ち込まれ、知らない間に雑然と山になってしまった」とのことであった。その周りにはぼろぼろの古いトタンやベニヤ板で囲ってはあが、風の吹く日は通行人にとつて非常に危険である。その東側のお宅では、タイヤの中に水が溜まり、夏になるとボウフラや虫が湧き、自宅に来るとのこと。これは不法投棄と言っていると思いが、そのような箇所の把握はしているのか。

答 安全安心課長 議員の言う不法投棄というような形で行政としては捉えていない。実際そういった囲いをしながらいろいろな廃棄物などが集められているような箇所については、現在のところ町内におおよそ25カ所把握している。

を廃棄する、そういったところが不法投棄ということでは捉えている。

問 登録された廃棄物の置場は、何箇所あるか。

答 安全安心課長 今、囲いを立てている場所はいくつかある。中野地区が13カ所、高島地区が3カ所、長柄地区が9カ所ということを確認している。それらの中身については、一般的に廃棄物といわれるが登録をしているかどうか、町では把握していない。利用者、事業者がさまざまな法令に従った手続きをした中で、その土地を利用してはいるものと町としては認識している。

問 これが不法投棄ではないということになると、安全安心課は何をもって不法投棄とするのか。

答 安全安心課長 不法投棄と捉えているのは、決められた場所以外にそういった廃棄物を放置すること。例えば、町内にある山林、田畑、個人の敷地、会社の所有地などがあるが、本来そういったものを捨ててはいけないところに廃棄物

問 では困っている住民は、どこにすがり付いたらいいのだろうか、どこが監督し、どこが取り締まってくれるのだろうか、そういう状態に追い込まれてしまう。不法投棄に関する情報はあ

るのか。

答 安全安心課長 課の臨時職員1名が、不法投棄がないかどうか町内をくまなく巡回している。住民からの情報も多い。

問 困っている住民に対しての今後の対策は。

答 町長 頻繁に不法投棄をされるといふ状況があれば、きちんとした指導体制と、予防策として、カメラの設置も考えていく。

その他の一般質問
・空き家対策の具体例は



山積みになっている廃棄物



瀬山 登
議員

魅力ある農業を目指して

問

平坦で広大な農地が広がる呂楽町、農業に定年制がないため働き続けるのが現状である。減り続けている農家数、高齢化した年齢層をどう捉えているのか。

答

農業振興課長 昨年9月から11月にかけて、農地プラン策定のため農家の方々にアンケート調査を実施した。対象人数568人、回答数520人、回答率91・5%。農業を行っている方の年齢は、80歳以上は19・6%、70歳代は34・8%、60歳代が30・2%である。

問

高齢化で後継者がいない。町の農業の担い手対策と育成について聞きたい。

答

農業振興課長 アンケート調査の結果から農地の現状を見える化し、地域の農地を誰が担うのか、地域で農業委員と農地利用最適化推進委員を中心に話し合いを行い、農業を担っていく認定農業者や営農法人を決めていく取り組みを行う。

問

大型化した農機具に対し、農地が小さすぎて効率が悪い。今、町内の農地で1筆1反以下は、どれくらいあるのか。

答

農業振興課長 市街化調整区域で約1万筆ある。

問

今までにどれくらい集積化ができたのか。

答

農業振興課長 事例として、平成26年度と平成28年度に畦畔（あぜ）除去による農地拡大を行っている。74筆が18筆となり、平均面積は1筆約5634平方メートルになり、施工総面積は10万8416平方メートルである。

問

町内の約1万筆からするとごく一部でしか対策が進んでいない。魅力的な農地整備と同時に用排水路の整備、用水施設も高度化し整備する必要があると思うが、町長の考えは。

農地整備は国の制度を活用して進めたい

答

町長 効率的な農業経営に農地の集積が必要と思う。国の制度を活用し

た農地整備を、今後も積極的に進めていきたい。

問

以前、水田に樹木が生い茂った耕作放棄地の点在する地域があると一般質問をした。場所によってはひどい地域もあり、誰が見ても耕作放棄地とすぐに分かる状態だが、町は把握し対策を考えているのか。

答

農業振興課長 まずは、表面の除草、樹木の伐採の対策。効果的にどう進めるのか、農業委員会などの関係機関や地権者、耕作者の皆さんと協議しながら進めていく。2番目として土地改良事業が考えられるが、地権者との合意形成から始まり、県の事業認可に至るまでには相当の月日と覚悟が必要になり、全ての条件をクリアしなければ実現できない。



集積化された農地



集積化されていない農地



黒田 重利
議員

生涯スポーツの 推進について

問 町民憲章に「町民総参加のスポーツ振興の町」とあるが、どう取り組んできたのか。

答 生涯学習課長 町には、体育館など11カ所のスポーツ施設がある。現在の登録団体数は138団体、昨年度の利用者数は延べ約22万4000人、この数字は10年前と比較すると約1割増えている。

問 子どもから高齢者までさまざまな人を対象に、スポーツ教室などを開催しているが内容は。

答 生涯学習課長 平成30年度の実績では、一般向けとしてはラジオ体操会やトレーニング教室。高齢者向けには軽スポーツ教室、少年教室では、ちびっこ

サッカーやジュニアバドミントンなどを夏休みなどの長い休みを中心に開催した。

問 スポーツ少年団の種目数、団体数は平成29年に質問した時と比べて変化はあるのか。

答 生涯学習課長 種目数、団体数ともに減少している。

問 対応策はあるのか。

答 生涯学習課長 スポーツ少年団がない競技でも多くの子どもたちの要望があり、バドミントンや卓球は夏休みに「入門講座」をそれぞれ6回と4回開催した。多くの小学生の参加があり、何とかスポーツ少年団が復活できないか体育協会の競技部と協議してい

るが、そのためには指導者の育成、確保が必要になる。

問 スポーツ少年団登録条件として最低2人以上のスポーツ少年団認定員、または指導員が必要だが、スポーツ少年団認定員と指導員の人数は。

答 生涯学習課長 各団の合計で81人が、認定員の資格を持っている。

問 認定員の日本スポーツ少年団指導者資格制度が、変わると聞いているが、どのように変わるのか。

答 生涯学習課長 日本スポーツ少年団独自の指導者資格が、来年度から日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に変わる。今までは毎年登録を重ねてい

れば無期限で資格が有効だったが、今後は最低4年に1度は講習を受けないとその資格が無効になる。

問 登録料の変更はあるのか。

答 生涯学習課長 年間登録料が1600円。それに加え、初期登録料が3000円。4年に1回の登録料が1万円かかってくる。

問 金銭的な負担が増える」と指導員、指導者になろうとする人が減ってしまう、スポーツ少年団の存続に関わってくる。スポーツ少年団の活動は、生涯スポーツの入口で大変貴重な場である。町は登録料の助成を考えているのか。

答 指導者の方に負担が
いかなないように取り組む

町長 町の将来を担う子どもたちの健全育成と健やかな成長のために取り組んでいる指導者のことを鑑みて、指導者に負担が



タグラグビー教室の様子

いかなないように取り組んでいきたい。

その他の一般質問

・健康寿命の延伸について



休憩室 The Lounge

平穏な生活とは



吉田 雅子
(明野・34区)

邑楽町の春といえば、足下に水仙や菜の花、見上げればピンクの桜。遠く白銀の日光連山や雄大な赤城山、さらに見渡せば西上州の名峰が目飛び込んできますが、いつもの春とは今年は違いました。

目に見えないウイルスの陰におびえ、多くの日常生活が一変してしまいました。思えば自然災害も少なく、気候風土が素晴らしい邑楽の地に生まれ育った私にとって思いもよらぬ春でした。

何事もなく平凡な日々を過ごせることの大切さを見失っていたような気がしています。平凡でいい、いつもと変わらぬ日々のいとおしさを感じられずにいられない春でした。日々の平凡な生活も積み重なれば非凡な人生となります。あえて非凡さを求めなくても平穏な生活がいかに大事か、かみしめています。

議会のうごき

2月

- 6日 議会運営委員会、全員協議会
- 7日 群馬東部水道企業団議会
- 10日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会
- 14日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会
- 19日 群馬県町村議会議長会定期総会
議会運営委員会
- 20日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 21日 全員協議会

3月

- 3日～16日 第1回定例会
本会議、議会運営委員会
各常任委員会、全員協議会
広報委員会
- 23日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 24日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 26日 邑楽郡町村議会議長会定期総会
邑楽館林医療事務組合議会
- 27日 館林地区消防組合議会

4月

- 2日 広報委員会編集会議
- 13日 広報委員会校正会議
- 16日 議会運営委員会、全員協議会
- 28日 全員協議会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は

6月8日から12日を予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は9日、10日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。
役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。
議会の会議録は、図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/li/070/index.html>

詳しくは、議会事務局まで 47-5000

鹿児島県始良市

私

の故郷は、鹿児島県始良郡始良町（今は始良市）です。

東京都荒川区内に就職のため、昭和32年に上京しました。その後、埼玉県越谷市に、昭和49年に邑楽町の現在の場所に越してきました。早いもので、邑楽町に住んで46年になります。

何年か置きにある同窓会に出席の時は、車で帰省し、その時はよく市内を走りまわります。歴史を感じる史跡巡り

は楽しいものです。NHK大河ドラマの「篤姫」や「龍馬伝」のロケ地である龍門司坂や「日本の滝百選」に選ばれた高さ46メートル、幅43メートルの雄大な龍門滝など隠れたスポットがいっぱいあります。

帰省した時に必ず行く場所があります。そこは、蒲生八幡神社です。そこには、国の特別天然記念物に指定されている、推定樹齢1500年の日本一巨大な樹木



畠中 良雄
(十三坊塚・6区)

である「蒲生の大クス」があります。近くには武家屋敷群、御飯屋門などがあります。鹿児島県始良市にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



蒲生八幡神社「蒲生の大クス」



令和元年12月に発生した新型コロナウイルス。感染症拡大防止策に世界中の人々が混乱して、イベントや身近な生活に大きな影響を与えています。収束が見通せない非常事態に、今まで経験したことのない行動・体験を強いられていますが、一日も早く平常に戻ることを祈っています。

邑楽町議会では、令和元年度から「町民に分かりやすい開かれた議会」実現のため、邑楽町議会基本条例の制定に全議員で取り組んでいます。ですが、新型コロナウイルスの影響で議会報告会などの開催が危ぶまれています。今後の議会活動に對しましても、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

(瀬山記)

